

ペガサス大阪南看護専門学校(仮称)開設準備進行中

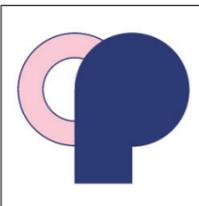
TOPICS
5

ペガサスの思いを込めた校章が誕生

ピンクがポイントのやさしいデザイン。
患者さまと地域との絆を大切に。

令和3年4月開校予定のペガサス大阪南看護専門学校(仮称)の校章が誕生しました。デザインのベースは、ペガサスのシンボルマーク。患者さまと地域社会とペガサスとの強固なつながりを、若々しい双葉で表現し、めざすところに芽が伸び行くという、豊かな将来性をイメージしています。ピンク色は、やさしさと思いやりの心を象徴。看護職として、大切な精神を表しています。

この校章を胸に、大きく羽ばたいてほしい学生たち育成に向けて、当校の教育理念は、「生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性と自主自律の精神、専門職としての看護実践能力を培い、地域の保健医療及び福祉に貢献できる看護師の育成を目指す」としています。ペガサスの理念である「患者さま中心」「地域社会への貢献」をもとに、常に患者さまの視点で、理想の地域医療の実現をめざしてほしいという思い。そして、社会が期待する看護職となるには、自



らが主体的に学び続け能力を高めることが必要であり、そのための基礎能力と人間性の育成に主眼をおいた教育理念です。

現在は、教職員一丸となり、新入生の受け入れ準備を進めています。授業案作成・講師との調整・実習施設との調整、授業・演習に必要な物品整備など、着々と進行中。講義は令和3年4月から、臨床実習は7月から開始する予定です。

教育
理念

ペガサス大阪南看護学校

当校は、看護師養成校として、生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性と自主自律の精神、専門職としての看護実践能力を培い、地域の保健医療および福祉に貢献できる看護師の養成を目指すものである。

LINEで、看護学校からのお知らせや最新情報を配信中です。
是非、友だち登録してくださいね!
ID検索 @855ghllg

ペガサス健診センターの
ご案内

ペガサス健診センターは、最新鋭の医療機器を使用し、適切な診断を提供しています。
一般健診・企業健診、人間ドックなど、多彩なメニューからお選びいただけます。
お問い合わせ／072-265-6006



ペガサス地域包括ケアセンター

場所：馬場記念病院 総合案内横
時間：平日9時30分～12時まで
健康のことから在宅介護まで。多様なニーズに対応する「なんでも相談」窓口を設置しています。まずはお気軽にご相談ください。

お問い合わせ／TEL:072-265-5558 (担当 齋藤)

「なんでも相談」
窓口ありますペガサスグループ
株式会社ユニコ

取り扱う紙おむつは150種類以上。大幅な値下げも実施中です。



●お問い合わせ
TEL:0120-062-505

私たちと一緒に働きましょう。

随時受付
しています

介護職員募集中! 正職員採用

いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

障がいをお持ちの方、一緒に働きませんか

※障がい者手帳をお持ちの方。正職員への雇用変更もあり業務は、A)書類の印刷、製本 B)洗濯 C)清掃 D)データ入力 E)資料作成等。

お問い合わせ／馬場記念病院 人事課 TEL:072-265-9089



社会医療法人ペガサス公式 Facebook ページ
<https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus>

ペガサスマンモサوندهー

開催予定

【開催日】(予定)

3/14(日)

【開催時間】

9時～17時

【お問合せ】

TEL:072-265-6006
(ペガサス健診センター)PEGASUS
NEWS

ペガサスニュース

発行人/馬場武彦
発行/社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
<http://www.pegasasu.or.jp/>
編集/ペガサス広報委員会 編集グループ
編集協力/HIPコーポレーション
発行/令和3年2月16日

Vol.95

コロナに負けない! ペガサスグループからのメッセージ



社会医療法人 ペガサス 理事長
社会福祉法人 風の馬 理事長
馬場記念病院 院長 馬場 武彦

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という厳しい一年でした。ペガサスグループも、幾多の試練を受けつつ、職員一同、医療従事者としての責務の全うに、全力を注ぎ続けてきました。そうしたなか私たちが考える

のは、いかにいつもと変わらぬ医療をご提供するかということです。例えば、馬場記念病院では、地域の救急・急性期医療を担う病院として、これまでと同じく、最善の医療をご提供する。そしてそのために、感染防止、予防には全身全霊を傾け、環境整備に邁進しています。コロナ禍の今日、私たちには従来と異なる日々が強いられています。しかし、人と人、人と町の絆は失われていないはず。ペガサスグループは、地域の皆さまと、ワンチームです。皆さまとともに、希望を持って歩むことができる一年であることを祈念いたします。



ペガサス
リハビリテーション病院
院長 西野 裕二

今年は昨年に引き続き、新型コロナウイルスの院内感染防止対策として職員の行動制限や、入院患者さんの面会制限など多くのご不便をおかけしています。一方、コロナ禍ではありますが当院の役割である回復期・維持期でのリハビリの医療機能は低下させることないように職員一同、一致団結して粛々と続けて参る所存であります。



介護療養型老人保健施設
ペルセウス
施設長 南部 泰孝

ペルセウスでは、急性期治療ののち、ご利用者が自宅や施設に帰るまでに、リハビリテーションを中心に日常生活動作の向上をめざしています。新型コロナは先が見通しづらい状況ですが、感染対策に努め、医師、理学療法士、看護師、介護職員、薬剤師、管理栄養士、支援相談員等で、入所者の方を肉体的、精神的でサポートし、再度ご自宅での生活が可能になるよう、職員一同尽力して参ります。



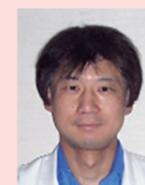
介護療養型老人保健施設
エクウス
施設長 新田 敦範

新型コロナウイルス感染症の終息がまだ見えない中、施設内クラスター発生の回避を使命と捉え、環境衛生管理、入所者様と職員の健康管理を徹底することで、ご利用者様に安心して利用頂ける施設を目指し、日々努めて参りたいと思っております。今年も一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



ペガサスクリニック
院長 永田 安徳

私共は近隣の方々の健康管理や慢性疾患の継続治療などを主たる任務と考え、不十分ながら有熟者に対する診療も行っています。新型コロナの流行は収まる気配を見せませんが、皆様ご自身の感染予防が周りの方々への感染予防につながることを肝に銘じて3密の状況と避け、手洗いとマスク着用の継続をお願いします。内なる免疫力強化のため食事や睡眠、適度の運動などにもご留意ください。



ペガサスロイヤルクリニック
院長 中林 孝之

当院はペガサスロイヤルリポート石津に併設されているクリニックで、上記にお住いの方や近隣にお住まいの皆様のかかりつけ医として平成21年に開院しました。昨年同様、今年も未だゴールの見えないコロナ禍の中「マスク着用、消毒、パーティション、サ高住居室での診察待ち」といった感染拡大予防につながる道を皆様と共に歩みつつ、これからも良質な初期治療と患者様に気楽に相談いただける診療所をモットーにスタッフ一同尽力して参ります。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



特別養護老人ホーム
アリオン
施設長 中辻 朋博

毎日、新型コロナ感染件数が報道されております。皆様におかれましてはご不安な毎日かと思えます。職員一同、利用者にご迷惑をかけるはいけません、との思いで日々の業務に取り組んでおります。適切にケア提供を継続することが事業所の責務と考えております。本年もどうぞ、宜しくお願ひ申し上げます。

TOPICS 1 ペガサスグループ オンリーワン企業としてテレビ放映

読売テレビ「BEAT 時代の鼓動」に、 ペガサスグループが登場！

読売テレビ「BEAT 時代の鼓動」をご存じですか？
これは関西のさまざまなオンリーワン企業を紹介するミニドキュメンタリー番組。毎週日曜日に放映されています。この番組に、2020年11月22日、ペガサスグループが登場しました。

読売テレビからは、高度急性期から生活期まで、地域包括ケアシステムを構築するための、ペガサスグループ内の各施設を取材させていただき、馬場



記念病院の救急外来、介護療養型老人保健施設ペルセウス、ペガサス保育園など、さまざまな現場にカメラが入っていました。

この番組で、理事長の馬場武彦が伝えたかったことがあります。まずは、医療、地域に対する情熱を大切にしていること。馬場記念病院は脳神経外科を強みとし、これを活かすには、患者さまの社会復帰までのサポートが必要と考え、回復期や在宅療養支援にまで翼を広げつつ、地域連携にも注力し続けてきたこと。これらを支えるのは人であり、働く人たちが幸せでなければ、地域のための活動は成り立たない、という思いです。

さまざまな職種の職員と、患者さま、ご利用者との生き生きとした結びつきが放映され、ペガサスグループの魅力が伝えられたのではないかと思います。放映後には、見てくださった方々から「地域を支えてきた成果だね」「すごいね」などのお声をいただきました。



こちらから
ご覧ください



TOPICS 2 ペガサスグループ ペガサスリモートセミナー開催

2021年4月からの介護報酬改定を、 リモートセミナーで解説。

2020年12月24日に、第1回ペガサスリモートセミナーを完全リモートで開催しました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響で、医療従事者に対する、各種研修会や勉強会が中止になっている現状を見つめ、ペガサスグループのケアマネジャー部門が、社会貢献・地域貢献の一環として、企画・実施したものです。

第1回テーマは、2021年4月の「介護報酬改定、現時点でのポイント」。介護保険制度などを活用して利用者さまを支援するのは、ケアマネジャーやメディカルソーシャルワーカーです。より良い支援を行うためには、制度改定の知識をしっかりと正確に理解しておくことが大切であり、



そのための学ぶ機会の提供をめざしました。講師を務めた中辻朋博（社会福祉法人風の馬／特別養護老人ホームアリオン施設長／ペガサスケアプランセンター石津北管理者）は、「対面とは異なり、手応えが分かり辛かったのですが、参加者の方々からは、ポイントを絞った解説で解り易かったとの声をいただき、ほっとしています」と述べています。

2021年1月19日には、第2回を開催。梨谷竜也（馬場記念病院臨床心理部主任）が、「ケアマネ自身の心のバランスの取り方」をテーマにお話しました。50名を超える地域のケアマネジャーさんにご参加いただき、大変盛況なセミナーとなりました。

ペガサスリモートセミナー 次回のご案内

2021年2月5日（木）16:00～17:00

「MSWが語る病院との上手な付き合い方」

講師：丸山秀幸

社会医療法人ペガサス 馬場記念病院医療福祉相談室 室長

お申し込みはこちら▶



お問合せ：ペガサスケアプランセンター
担当：河内、中辻 電話：072-265-7447
メール：pegasus_cpc@sakai.zaq.ne.jp

TOPICS 3 馬場記念病院 日本脳卒中協会の体験記優秀賞受賞

脳幹出血を乗り越えた高野直也。 「自分の体験を少しでも役立ててほしい」。

馬場記念病院・診療情報管理室に勤務する高野直也が、日本脳卒中協会第22回脳卒中体験記の優秀賞を受賞しました。タイトルは、「28歳からのリ・スタート」。

高野直也が脳幹出血を発症したのは、28歳のとき。ICUを含め、入院生活は4カ月。先の真っ暗なトンネルを歩くような思いをし、右半身は不自由ながらも、退院に漕ぎ着けました。

退院後、高野は二つのことに挑戦しました。一つは、新たな自分を生きようと、以前の会社ではなく他の職場での社会復帰。当院には、ペガサス就労支援プログラムを活用し就職を果たしました。もう一つは、自分の体験を話すことで、同じような病気で、将来の不安に押しつぶされそうな人たちの希望の光になる。この思いが、今回の体験記優秀賞受賞に繋がりました。

「28歳からのリ・スタート」で伝えたかったことは、二つと高野は言います。第一に、病気の方へ。「過去を振り返ることはあっても後進しないこと。現状の自分を見つめ、前進し続けようと思うことで光は見えるはず」。第二に、健康な方へ。「健康で当たり前の日常に感謝してほしい。病気



二十八歳からの
リ・スタート
大阪府堺市
高野直也



病を患っても、
身体が不自由になっても、
人生は何度でも
やり直すことができると
確信している。

の人がいたら励まし支え続けてほしい。それが病気と闘う大きな力になるから」。

高野は今、「自分のやりたいことが少しずつ増え充実している」と言います。励まし続けてくれた両親や友人への感謝を胸に、彼のリ・スタートは、力強く続いています。

こちらからご覧ください▶



TOPICS 4 ペガサスグループ 南大阪リハビリテーション・ケア学会開催

地域のために、学びを止めてはいけない。 そんな熱い思いで、本年は開催します。

ペガサスでは、南大阪地域におけるリハビリテーションに関わるすべての職種のレベルアップを図り、地域住民の生活向上に寄与することを目的に、「南大阪リハビリテーション・ケア学会」を設置しています。

第8回学会は、本来は2020年3月開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により延期。改めて、2021年4月24日、充分な感染防止対策を行いながらの開催を決定しました。

感染防止対策として、今回は現地会場+オンラインのハイブリッド形式にて行います。現地会場については、馬場記念病院の感染対策行動指針・ルールに則り、手指消毒、検温、ソーシャルディスタンスの確保、換気、室内の人数制限など、さまざまな対策を計画。また、今後の感染状況によっては、すべてオンライン開催に切り替えることも含め、準備を進めています。

学会スタッフたちは、学術発表や情報共有によって自分たちを高め合い、それが地域住民の生活の質の向上に

繋がっていると実感し、この歩みを止めてはならないという熱い思いに溢れています。一方、参加申込者・一般演題の数も、前回・前々回を上回る勢い！ ペガサス同様、この活動を止めてはいけないという皆さんの熱意を感じ、

大変心強く思っています。一般演題は、2月28日まで募集受付。皆様のご応募を心からお待ちしています。

一般演題
募集中

開催概要は
こちら▶



一般演題募集は
こちら▶

